

かるがも



発行所 千葉県こども病院
〒266-0007 千葉市緑区辺田町 579-1
TEL 043-292-2111
FAX 043-292-3815
[//www.pref.chiba.jp/byouin/kodomo/](http://www.pref.chiba.jp/byouin/kodomo/)

第11号

就任のご挨拶



病院長 伊達裕昭

平成16年4月1日から、鳥羽前院長の後任として病院長を務めさせていただいております。季節はもう梅雨に入ってしまった、大変に遅くなりましたが、皆様に本誌を通して就任のご挨拶を申し上げます。

私は昭和63年の千葉県こども病院の開院と同時に赴任して以来、これまで脳神経外科の臨床の現場で診療に従事することで、一医師として小児医療の実践に努めてまいりました。今回このような形で当院の運営に携わる重責を担うことになり、志も新たに330人余の病院職員一同の力を借りて、皆様にご満足いただける医療を提供できるよう、私なりに努める所存です。

皆様すでにご存じのこととは思いますが、千葉県の県立7病院は今年度から地方公営企業法の全部適用を受けて、新設された病院局の指導のもとに、経営の効率化とさらに質の高い医療サービスの提供を行うことを目指しています(別掲「県立病院の事業

運営に係わる基本理念」参照)。昨今の医療をとりまく環境が厳しさを増す中で、県立病院全体がより効率的に医療連携を深め、皆様の要望に迅速かつ的確に応えるための機構改変と、ご理解いただきたく思います。

特に小児医療をめぐるっては、最近の報道にもありますように、小児科の医師の減少や小児救急のシステム整備などは社会問題にもなっており、当院に寄せられる県民の皆様のご期待も今後ますます大きくなるのではないかと考えます。このような変革の時期の病院運営は、風雨の中を航行する船のように、時には大きな揺れを承知で進まなければならなかったり、また時には天候の回復を待って一時停止したりと、一様では行かないことを覚悟しております。しかし、その先に目指すべき目的地は、多くの県民の皆様にご安全かつ質の高い小児医療の場を提供することであり、そのご期待に応えられるような体制を作ってゆくことが、当院そして私に課せられた責務と感じています。

4月末の新聞報道で、県の将来構想としてこども病院を始めとする専門医療部門は平成25年以降を目指した千葉県総合医療センター(仮称)に統合する、との記事が掲載され、将来はどうなるのですか、という不安を訴えるお声を耳にしました。以前、県立病院の統廃合が話題に上った時も、こども病院が無くなるのではというご心配の

声をたくさんいただきましたが、その多くは現在のこども病院の存続を強く要求されるご意見で、職員一同は大いに勇気づけられました。今回の将来構想も、より効率的な医療のためには10年後以降に各センター病院を統合して、千葉県として一つの総合医療センターを設置することが適当である、という提言であり、その実現まではこれまでと変わることなく、現在の病院で千葉県の小児医療の一翼を担い続けてまいります。県の機関である以上、当院の将来の形態は今後の県の方針に従う形となりますが、これからも県民の皆様が支持されて、10年後にも千葉県の医療に絶対欠かせない存在である、と評価される医療機関であり続けなければと考えています。

そのため4月の就任に際して、いくつかの個人的な提言を職員に発しました。当院の行動方針については、*診療の質の向上、*サービスの向上、*経営の改善、*地域医療連携の推進の4項目を主な検討課題として、現状を見直し、改善すべき点の検討を開始しております。これらの検討を通じて、開院以来培った経験の蓄積を生かしつつも、新たな視点でより安全で質の高い医療を実践できる組織と環境を作りたいと考えています。今後の病院運営につきましても皆様から頂戴する貴重なご意見を参考にしながら、さらなる改善に努力いたします。

これからの千葉県こども病院に対しましても、これまでと同様に皆様のご指導、ご支援を賜りますよう、職員を代表してお願い申し上げます、就任のご挨拶に代えさせていただきます。

平成16年6月

県立病院の事業運営に係わる 基本理念

医療を受ける人を中心にして、安心して受診できる医療を行います。

時代とともに変化する、県民からの医療サービスへの要求に速やかに対応する、信頼される医療機関を目指します。このため、現在各機関で保有する高度で特色ある医療資源を、一体的な運用等により最大限有効活用するとともに、さらに一層の充実・改良を行います。

県民の医療ニーズを的確に把握し応答する機能を重視し、積極的に医療に関する情報の受発信を行います。

県内の大学、医師会、国公立及び民間の医療機関等との連携を深め、医療技術の向上や人材確保など、本県の医療体制の充実強化に貢献していくことを目指します。

県立病院が将来にわたってその使命を果たしていくため、経営基盤を安定させ必要な投資が可能な財政状態を実現して、安定的な医療提供体制の確立を目指します。

